



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

希望記事

・ごみ削減に関する取り組み、リサイクルなどの情報に関心があります。
(後略)

環境問題を取り上げる『くらしを豊かにするハンドブック「環境保全編」』(仮題)を来年二月頃に発行予定です。そちらで取り上げることができれば入れていきたいと思えます。

・生活習慣病予防のための運動方法

一〇月号より三連載で健康づくりのための手軽な体操を取り上げる予定にしております。

・現役世代もセカンドライフの方々も、忙しく生活しておられると思います。そういう中であっても、穏やかに心地良く流れて行く時間の過ごし方や、その感じ方、そんなライフスタイルのご紹介がほしいです。

「スローライフ」よく他のメディアで見聞します。多忙な毎日を通す人々にとって、安らぎが必要ですね。記事掲載について、検討します。

・身近なお金(保険料や年金など)に関するお得な制度のお知らせの記事などがあると色々な人に役に立つのではないかと思われれます。

今号で取り上げた医療費控除制度などもご依頼の趣旨に一部該当するかと思えます。随時掲載していきます。

・各地で行われています地域活動・コミュニティ活動・NPO活動等の取り組みや立ち上げ方など

「Useful Life」がご依頼の記事のコーナーに該当します。このコーナーでは、ボランティアなどを中心に取り上げております。

・贈与税や株式配当に関する税を取り上げて頂きたい。

「[x]」のコーナーで掲載できるか検討いたします。

・労働と余暇とのバランスの取れた社会生活を送るため、仕事と社会と自身をリフレッシュする余暇活動に関連する内容のもの。
・音楽・スポーツ・旅行・お酒など、余暇を利用した個人の趣味の話などがあるといいな、と思えます。

一〇月号より、「Hobby & Sports」のコーナーにて、自由時間の過ごし方について、体験談に基づく記事を掲載してまいります。

・近年、投資信託に関する話題は興味があるので、具体的なファンド等の分析とかもあつたら読んでみたいです。(公務員は、副業ができないから、配当はなかなか嬉しい。)

目黒先生の記事で投資信託についても今後掲載予定です。但し、本誌の性格上、個別のファンドの推奨などは困難ですので、その旨はご理解ください。

・資格やキャリア開発の方法について特集してほしいです。
・退職後の再就職について。就職率・仕事内容・必要な資格など

「Career」のコーナーでは、資格取得者についての記事を随時掲載していきます。また、当協会では、キャリア開発ハンドブックも作成しておりますので、ご参考にしてください。

・地方公務員のメンタル疾患について、一次予防、復職支援等効果を上げている自治体の実践記録があれば、お願いします。(他同様二名)

ご依頼の趣旨に沿うかどうかは不明ですが、一〇月号から二連載または三連載でメンタルヘルスについて取り上げる予定です。

・後期高齢者医療制度について。実際に地方公務員OBの共済年金受給者の負担はどのくらいになるのか。今までの国民健康保険と比較して負担が増えるのかどうか。(他同様一名)

年齢構成が変化していく中で数十年後には明らかに負担増となります。しかし、近い将来においては、保険料の計算金額が自治体により異なり、

一概には分からないというのが現状かと思えます。今号にて、後期高齢者医療制度についての特集記事を入れましたのでご参考にしてください。

- ・四月からスタートした生活習慣病対策について、具体的な対応について説明がほしいです。
- ・年金制度について、受給を遅らすと支給額がアップするが、その手続き時期などを教えてほしいです。

「Topics」での掲載を検討します。

- ・公的年金、私的年金特集で、老後についての生活設計について。

定年退職後の家庭経済という側面で、白崎先生の記事で取り上げて頂く予定です。

- ・「食事は健康作りの原点です。」は、大変興味深く読ませていただきました。できれば、「過ぎたる飲酒は不健康の始まり。」と言ったようなテーマを取り上げていただけないでしょうか。アルコールによるカロリーの摂り過ぎ、食べ過ぎによる肥満や内臓障害など、適度のお酒を守れないことによる健康障害も懸念されます。

今回の連載では、飲酒に関するテーマは含まない予定です。今後の記事作りの参考とさせていただきます。

- ・前向きな人のお話は、自分も頑張ろうって思わせてくれます。いろいろな分野で光っている人を紹介してください。これからも期待しています。

思ったら実行に移すようにしていきたいものですね。そのきっかけになれば幸いです。

その他ご意見

- ・初めてアンケートに応募します。今まで、退職後のことはあまり意識していませんでしたが、先日の講演会（ライブプランセミナー）を機会にこれから考えていきたいと思えます。（他同様一名）

一人でも二人でもこういう方々を増やしていきたいと思っています。

- ・貴協会ホームページが一新されたこと知り、早速開いてみました。どのページも目にやさしい色調で、とてもきれいです。過去に掲載された記事を探すとき、ジャンル別にも検索できるようになり、大変便利です。しかも、Q&A集とリンクして、より多くの関連情報が得られるので、よいと思います。さらに内容が充実されることを期待しています。（他同様一名）

ありがとうございます。今号ではホームページにおける機関誌「ALPS」の検索の仕方も掲載しました。併せてご覧ください。（六六ページ参照）

- ・機関誌「ALPS」を初めて読みました。公務員として、普段の仕事以外に別の世界が垣間見えるようで参考になります。

仕事の世界ではありませんが、決して別の世界ではありません。心をこめて読んでいただければ、そしてご本人がその方向を目指すならば、それはその方の世界となります。

- ・近頃、私自身が目が衰えていると実感しており目のことに関心があることもあり、加齢による目の疾病については、参考になりました。次回以降の記事に期待しています。（他同様二名）

眼に関しては、近年では取り上げることがなかったので、三連載（四、六、八月号）で掲載することにしました。

- ・今月号も楽しく読ませていただきました。他の人の経験に触れるということはとてもためになります。これからもよろしく願っています。

他人の経験を如何に自分の人生に役立てていくかがこれからの我々の課題ですね。

・同郷ということもあり、佐藤真海さんのインタビュを興味を持って読みました。病氣、そして障害者という境遇を乗り越えて、再度夢に向かって挑戦をなさっている姿に感動。「ご本人のブログを拝見したところ、先月（三月）の大会で日本新記録を出されたとか。きつと北京パラリンピックで良い結果を出されると信じております。（他同様四名）

同感です。

・私のボランティア体験記での大橋さんの言葉、「物の便利さは、ほどほどがよい」改めてそのとおりだと思います。最近特に楽な方、楽な方に向かいがちな自分にとって、タイムリーな記事となりました。

全くその通りですね。

・特に、今回は「二〇歳代のライフプラン〜お金の基礎を作ろう〜」といった若者向けの記事もたくさんありますので、同僚や友人にも是非紹介したいと思います。冊子自体も大変読みやすくなり、非常に好感が持てるつくりになったと思います。

二〇歳代、三〇歳代にも気を配る編集を心がけております。今後ともよろしく願います。

・鎌倉・室町時代以前の日本人は一日二食という文章を読んで、メタボ対策として、昼飯を抜こうと思い、実践しています。目標体重になるまで続けて、この通信員の任期が切れるころには結果が出ていると思います。どんな結果になるか？ また、連絡します。

お待ちしております。

・通信員になり、このようなアンケートが求められることになったことで、評価する目で読ませていただきました。この立場からすると最終記事の通信員からの声は参考になります。

読者との双方方向のコミュニケーションを目指す手段がこの通信員制度です。今後ともよろしく願います。

・Useful life「私のボランティア体験記」とPerson「風を起す」へ第五回が、いずれも海外体験の内容でしたので、どちらかは国内でのボランティア体験などの記事の方が良いのではないのでしょうか。なお、全体的には、内容のバランスはとれていると思います。

今回たまたま海外ものが重なりました。バランスも考慮していきます。

・今回は全般的に質・内容が良かったように思います。（他同様一名）同じような記事（金融と健康の記事）が多いな、と感じました。読んでみるとそれぞれの内容は大変ためになるのですが、偏った紙面配分に感じられ、今号は全体的にかたい印象でした。

全体的な印象もお伝えいただき、ありがとうございます。

・文字の大きさ（ポイント）を少し大きく出来ないでしょうか？ また、二ページに小見出しがない文章は、少し辛いです。

記事ごとの文字のポイントは極力揃え、かつ二三年前よりはかなり大きくしています。更に大きくしますとページ数増、さもなければ記事数減が必要でどちらも避けたいというのが現状です。ご理解の程、よろしく願います。小見出しについては努力致します。

・それぞれの記事は内容もあって有意義なのですが、何せボリュームもあるので全て読むのは大変です。もう少し記事数を減らした方が気軽に読めて一般の読者には良いのかも知れませんね。

読者の皆様が全ての記事を隈なく読むのではなく、興味のある記事を中心に読まれているであろうと思っています。読者の興味の方向はそれぞれであり、記事数を減らしますと興味がある記事がほとんどなくなってしまう読者があるであろうことを危惧します。この件については他の読者のご意見もお聞きしたいところです。